

学園桜並木の更新作業開始

我々卒業生にとっては思い出深い学園内の桜並木ですが、樹齢70年以上が経つことからかなり痛みがひどくなってきています。今年の入学式には何とかその綺麗な花を楽しむことが出来ましたが、新緑の季節を過ぎても枯れあがってしまった枝が目立ち、胴割れも酷く痛々しい姿となっていました。

そんな中、新体制となった4月早々に伊勢新理事長より「これからの70年を迎えるために、新しい桜の木に植え替えしたい。」というご提案があり、本日からいよいよその作業が開始されました。まずは、枯れ枝や幹の損傷が目立つ正門周辺の古い株を切り倒し、大型重機を使って細断していきます。

【今年4月の桜並木】



【伐採作業後】







この後、樹高3 mほどの若い株を定植していくとのことです。今から来年の開花が楽しみになりました。

令和元年6月11日

文責：石塚